

日刊建設工業新聞

令和4年11月30日(水曜日)



インフラ投資で 経済成長を推進

足立参院議員
国政セミナー

自民党の足立敏之参院議員は28日、東京都千代田区の砂防会館で「国政セミナー」を開いた。7月の参院選で再選し2期目に入った足立氏は、従来掲げてきた「建設産業の再生なくして日本の再生なし」に加え、

新たに「インフラの再生なくして日本の再生なし」をスローガンに加えると表明。日本の経済成長に不可欠なインフラの整備を促進するため必要性を国会で発信し、政策に反映させていく方針を示した=写真。

足立氏は「諸外国と比較し、日本のインフラはこのままではいけない。高速道路も港湾も空港も、アジア諸国と比べると目を覆う状態だ」と危機感を示した。「脆弱(ぜいじやく)なインフラをしつかりと立て直すことが日本の経済の発展につながる」と強調した。セミナーには岸田文

雄首相がビデオメッセージを寄せたほか、来賓として林芳正外務相も出席した。岸田首相は10月に決定した総合経済対策に防災・減災・国土強靭化対策などを盛り込んだと説明。裏付けとなる2022年度第2次補正予算を「1日も早く成立させ、取り組みを前に進めなければならぬ」と訴えた。林外相は足立氏を「与野党の調整をはじめ、大切な仕事を着々とこなしていた」だいている」と評価。「今後は政務3役の形で、政府で仕事をしていただく大事な2期目になる」と期待を込めた。